

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1 県民の総力を結集できる行政の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	広聴広報課長 安部山 亨	電話番号	0852-22-5769
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	広聴事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	聴取した県民意見を県の施策に反映することにより、県民サービスの向上を図る	
事業概要	知事広聴会、県政世論調査、しまねWebモニター、県民ホットラインなど広聴事業を通して把握した県民の意見を県施策に活かす。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	知事広聴会で対話した県民の総数	1,714	1,779	1,178	
指標名	「県政世論調査」及び「しまねWebモニター」のアンケートに回答した人の総数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	件
式・定義	「県政世論調査」及び「しまねWebモニター」のアンケートに回答した人の総数	実績値	3,531	3,763	3,515	3,597		件
		達成率		125.40	117.20	119.90		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,414	7,378
うち一般財源(千円)	4,414	7,378

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

- 平成26年度の「どこでもふれあい懇談会」は5回、「気軽に知事とミーティング」は100回、計105回知事広聴会を開催し、延べ1,261人と対話を行った。近年の知事広聴会の回数は100回前後で推移しており、平成26年度は横ばい。
- 平成26年度の「県政世論調査」の回答回収数は1,333件、「しまねwebモニター」の回答数は2,264件。計3,597件の回答を得た。近年の県政世論調査の回答回収数の平均は約1,200件で、平成26年度は10%程度増加。近年のしまねwebモニターの回答数の平均は約2,300件で、平成26年度は横ばい。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 県政世論調査の回答回収数を増やすため、平成26年度は、期限までに回答されない方への督促状発行回数を、これまでより1回増やし2回にしたことで、回答数の増加につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- しまねwebモニターのモニター登録者は、平成26年度末で341人。
- 登録者のいない町村（奥出雲町、津和野町、海士町、知夫村）がある。
- 20代以下の登録者が10人程度で、他の年代と比較して極端に少ない。

②困っている状況が発生している「原因」

- しまねwebモニターについての周知不足

③原因を解消するための「課題」

- 募集チラシを作成し、特に、登録者のいない町村や若年層への周知を行い、登録者ゼロの町村の解消と、若年層の登録者の増加を図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- しまねwebモニターについて、募集チラシを作成の上、各市町村広報誌での募集告知の依頼や、島根大学・島根県立大学・コンビニエンスストアに配架することにより、登録者ゼロの町村の解消と、若年層の登録者の増加を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）